



結核しずおか

16号 2005年4月25日

発行

財団法人 結核予防会静岡県支部

〒420-0915

静岡市葵区南瀬名町6-20

TEL 054-261-2512

FAX 054-261-9474

Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

発行責任者 山田勝平

印刷 三協印刷株式会社



新事務局長就任あいさつ

4月1日付けで(財)静岡県結核予防会事務局長を拝命した山田です。皆様の健康づくりに参画できる機会を得て感激しております。

わが国の結核の状況については、戦後の大変厳しい状況からは大幅に改善が図られましたが、現在も年間の新登録結核患者数は約3万人、死亡者数約3,000人と、今なおわが国最大の感染症のひとつであります。特に、結核による死亡者は欧米諸国と比べると日本の死亡率(人口10万人比較)は高く、フランスの2倍、オランダの10倍となっています。相変わらず怖い病気にならないようです。このためにも年1回の定期健診など結核に対する関心を持ち続けることが大切です。

こうしたことから、支部の事業については17年度も引き続き内容を充実してまいります。具体的には、学校での結核検診を始め、住民検診での結核、肺がん、胃がん検診、事業所等での総合健診など延べ24万人余の検診を計画しています。

また今年度、当支部に念願のマンモグラフィ(乳房撮影)検診車を国、県の補助を受け導入します。このための態勢整備等をすすめ18年度からの本格的な乳がん検診に備えます。現在のがん検診の課題として、受診率が低いことが挙げられますが、特に乳がん検診は12.4パーセント(平成14年度)と低いことから、これの解消のためにも役立つものと思います。この運用に当たっては、女性放射線技師と女性ドライバーによる「女性スタッフ」で対応したいと考えています。多くの皆様のご利用を期待しております。

本年度も皆様の健康づくりのため、職員一体となって、気持ちよく検診が受けられるよう工夫、改善を図ってまいりますので一層のご支援をよろしくお願いいたします。

平成17年4月



財団法人結核予防会静岡県支部
常務理事兼事務局長 山田 勝平

平成17年度一般会計事業計画書

I 結核を中心とする疾病の予防思想の普及

1 全国結核予防週間における啓発

○ 全国結核予防週間 平成17年9月24日(土)～30日(金)

① 結核予防キャンペーンの実施

- ・ 開催日:平成17年9月
- ・ 場所:JR静岡コンコースなど

② ポスター等の広報資料を県・市町村に配布

2 静岡県結核予防大会の開催

① 開催日:平成17年11月 静岡県結核予防婦人会と共催

② 場 所:静岡県総合社会福祉会館7階ホール

③ 内 容:表彰、講演

3 広報資料の作成、配布

① 広報誌「結核しずおか」の発行

② 標語付カレンダーの作成、配布

③ 結核予防週間ポスター、パンフレットの配布

④ 「複十字」、「健康の輪」の冊子配布

⑤ 啓発用ビデオテープ、パネル等の貸出し

⑥ 出版物の斡旋

4 報道機関等への情報提供

5 県、市町村、各種団体が行う健康まつり等のイベントに参加

II 結核を中心とする疾病の医療関係者の研修

① 結核予防会本部主催の研修 ② 学会、各種団体主催の研修等

III 結核を中心とする疾病予防対策の調査研究

① 住民検診医療紹介連絡票に基づく要精検者の追跡調査 ② 結核感染症発生動向調査

IV 結核予防功労者の表彰

① 静岡県結核予防大会において結核予防功労者、結核予防功労団体の表彰

② 結核予防会本部表彰等の被表彰者の推薦

V 結核予防関係事業の助成及び指導

静岡県結核予防婦人会の諸事業に対して全面的に協力、支援

VI 結核を中心とする疾病の予防のための健康診断の実施

○ 平成17年度検診事業計画

1	学校検診(児童・生徒)	・結核検診	42,000人		
2	住民検診	・結核検診	14,000人		
		・肺がん検診	43,000人	・胃がん検診	8,000人
		・結核、肺がん検診	58,000人	・肺がん喀痰細胞診検査	1,300人
3	事業所検診	・結核、肺がん検診	60,000人	・肺がん喀痰細胞診	50人
		・胃がん検診	3,000人		
4	総合健診	・12,000人			
5	その他の検診	・施設検診	2,500人	・定期外検診	1,300人

VII その他この法人の目的達成に必要な事項

- 1 事業運営の改善 : サービスや検診の質の向上、各種改善に取り組む
- 2 設備の整備 : 乳がん検診車の購入と検診車の定期的整備等
- 3 会議の開催等 : 支部定例の理事会・評議員会、市町担当者会議等

市町村保健センターの紹介

裾野市福祉保健会館

裾野市は、静岡県の中核市として、富士山の麓に位置し市域は5ヶ村が合併、138.39 km²、東西に23.5 km、南北に23 km、標高は78 mから富士山の五合目まで2,169 mです。

また、東には箱根の山、西には愛鷹山と変化に富んだ市域です。

福祉保健会館は平成7年に、市民に親しまれる施設として子供から高齢者まで全てのライフステージにおいて、快適な生活を送れる施設の一環として保健と福祉が連携し、さらに市民、地域との共同作業と情報拠点として建設されました。

1階に健康センター、健康ホール、285 m²、健康研修実習室、内科歯科健診室及び健康相談室等で予防接種、母子保健事業、リハビリ教室などに活用しています。

福祉関係では、地域福祉センターとして、各ボランティアの情報交換、相談等活動の拠点とするとともに、情報提供のための録音、点字訳書の作成、また、おもちゃ図書館は第1・3水曜日と第2土曜日に開館。親子のふれあいの場として活用しています。

2階には、社会福祉協議会事務局、在宅介護支援センター等があり、デイサービスセンターではチェアインバス、オンラインバス、一般浴室があり、1日15名が利用できます。なお、利用者については送迎バスを運行しています。

老人福祉センターでは、せせらぎの湯として、全身湯、気泡湯、うたせ湯、圧注浴、寝湯、箱蒸しの6種類があります。休憩室として85畳の部屋に舞台と50インチのテレビやカラオケ設備があり楽しんでいただくようになっています。

また、3階では、2つの会議室と3つの研修室があり、各室ともに利用人数により移動間仕切りで対応できます。

また、難聴者で補聴器を使用している人には、マイクを通して直接補聴器に送信できる難聴者集団補聴装置が設備され会議等に支障のないようになっています。

「すがすがしく、すこやかにたすけあいに生きるまち」の実現をめざして、福祉と保健の複合施設として行政と市民が一体となり様々な事業がこの福祉保健会館で展開されています。

裾野市健康推進室 渡辺亮子



(裾野市福祉保健会館)



中川根町が結核対策推進 優良市町村として受賞

平成16年9月28日 都内ホテルニューオータニにおいて、小中学生への結核健診や中川根町民への結核知識と予防のための健康教育を実施し、高い受診率の維持が評価され結核対策推進優良市町村として、(財)結核予防会総裁 秋篠宮妃殿下より、中川根町が表彰されました。本県内からは9年振りの受賞です。

裾野市第 22 回ふれあい健康まつり …11月14日(日)

裾野市第 22 回ふれあい健康まつり 裾野市では、毎年 11 月に「ふれあい健康まつり」が開催されます。今年も健康と福祉を拠点とした福祉保健会館と隣接した消防庁舎において様々な催しが行われました。「健康コーナー」、「ふれあい広場」、「消防広場」の 3 つを柱とするもので、今年も健康まつりには 52 団体が参加し、多くの方で賑わいました。

「健康コーナー」では、年齢を考慮した総合的な健康チェックが行われ、「ふれあいの広場」では、ふれあいオンステージをはじめ、福祉団体やボランティアの活動紹介が行われました。



結核健康診断の追加検診も行われ、等身大の“シール坊や”の着ぐるみが会場内に登場し、結核予防会の協力で、より多くの来所者に結核検診の意識づけができたことと思われます。

また、市民の方々の前で車椅子のまま撮影できるリフト付き胸部検診車を使用した説明が行われました。来年度からはリフト付き胸部検診車を利用し、より多くの方に結核検診を受けていただき、検診受診率の向上を目指したいと思います。

裾野市健康推進室 保健師 荻野 瞳



焼津市では、今回「ほっと一息 癒しで健康づくり」をテーマに実施しました。会場内の和室に「癒しの空間」を設け、リラクゼーション CD を流し、深層水で作ったコーヒーやお茶を用意して、日頃の疲れを取っていただきました。この他にも関連する 23 団体の協力を得て、掲示や体験できるイベントを実施し、700 人を越える市民の参加を得ることができました。

この中で、今回初めて結核予防会の皆様に参加いただき、パンフレット等の配布、レントゲン写真の展示をしていただきました。多くの方が興味を持ち、展示をじっと見ている人もいました。また、“シール坊や”が会場内を回り、結核予防の PR に大いに活躍してくれました。この“シール坊や”はとてもインパクトがあり、PR 効果は大きかったものと思います。



今回の健康まつりでは結核予防の PR が十分にでき、とても感謝しています。今後も結核予防会の皆様とともに、各種検診の受診率向上と市民の健康の維持・増進に努めていきたいと思っています。

焼津市保健センター 事務吏員 曾根正博



焼津市健康まつり …10月2日(土)

清水町健康まつり …11月23日(祝)

平成 16 年 11 月 23 日(勤労感謝の日)に町内にある卸団地で「清水町ふれあい広場」が開催され、この中で結核の追加検診を行いました。

当日は天候も良く多くの方で賑わい、9 月に行われた検診で受けられなかった多くの方が受診されました。

今年も“シール坊や”の着ぐるみも参加し、風船・パンフレットの配布、結核予防のパネル、レントゲン写真の展示も行われ、子どもから高齢者まで幅広い年齢の方々が来場してくれました。

日々の生活の中で結核という病気が薄れて行く中、多くの町民の集う場所での検診実施は大きな PR になると思います。

今後も結核という病気の恐さを 1 人でも多くの方に認識していただき、検診の大切さ、必要性をアピールしていこうと考えています。

清水町保健センター 保健師 宇田隆子



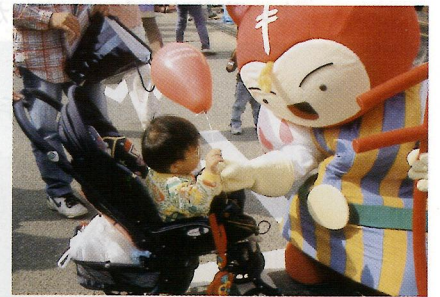
伊豆長岡町健康まつり(シール坊や大活躍) …10月24日(日) …アトピー協会活動

伊豆長岡町では、平成13年度より毎年10月の健康まつりで胸部レントゲン検診を実施しています。参加された人々にはパネル展示や模型を通じて結核や肺がんの知識の周知をすることができました。結核予防会のスタッフの皆様には毎年多大なご協力をいただき、深く感謝いたしております。平成16年度は特に“シール坊や”の活躍により、子供たちにもアピールすることができました。“シール坊や”にももらった風船を大切に握っているお子さんが印象的でした。シール坊やの着ぐるみ担当の方にはこの場をお借りして改めてお礼申し上げます。



平成16年度より個別健康教育による禁煙支援も始まりました。禁煙したい気持ちのある人を6ヶ月間支援していきます。無事卒業されるととても嬉しい反面、卒業後のフォローの大切さも痛感しています。実はこの方々も、結核予防会の胸部検診を受けた方々です。お世話になりましたスタッフの皆様の今後のご活躍お祈りしております。

伊豆長岡町 保健師 天野えり子



複十字シール運動だより



平成16年度も結核撲滅のために複十字シール運動募金にご協力いただき誠にありがとうございました。

平成16年度募金実績

総額 2,125 万円

組織募金 1,883 万円

郵送募金 242 万円

皆様のあたたかい善意は
このように役立っております・・・

静岡県結核予防婦人会本部・支部助成費	891 万円 (42%)
複十字シール製作費	468 万円 (22%)
検診車購入積立金資金	500 万円 (24%)
普及啓発費等	266 万円 (12%)

17年度複十字シール紹介

● 誰もが幸せに ●

DOUBLE-BARRED CROSS SEALS 2005
JAPAN ANTI-TUBERCULOSIS ASSOCIATION



第9回結核予防関係婦人会団体中央講習会に参加して・・・

平成17年2月2日～4日 メルパルク東京にて今年度、初めての試みでおこなわれた婦人会中央講習会の「班別討議」に結核予防会のシール担当者として参加してまいりました。全国各地の婦人団体の方々と本音で話し合うなど、貴重な体験ができました。

今後の課題として、1. 実際活動されている会員の方までの情報伝達の徹底。2. 今回参加しての内容を報告ができる機会を設け(報告書等を作成)改めてシールのありかたを会員の皆様に認識していただく。3. 市町村合併に伴う婦人団体の減少問題を重く受け止め再度、行政にシール運動の存在を理解していただく。

このためにも結核予防会と婦人会の皆様が、複十字シール運動に対する思いを1つにして、多くの人に私たちの活動を理解していただき認めてもらわなければシール運動は広がらないと実感しました。

出席された静岡県結核予防婦人会の会員の荻野さん(裾野支部)、杉田・小林さん(静岡市支部) 福江さん(掛川支部) 3日間大変お疲れ様でした。

複十字シール運動事業担当 杉山工三

健診会場にて…(聴覚障害者と手話)

その1 「結核予防週間です。お読みください。」と言いながら市内青葉イベント広場でパンフレットを渡していると、顔見知りの聴覚障害者のSさんが近寄ってきた。(ここで会うなんて珍しい!)

「今日はここで仕事？」と手話で話しかけてきた。

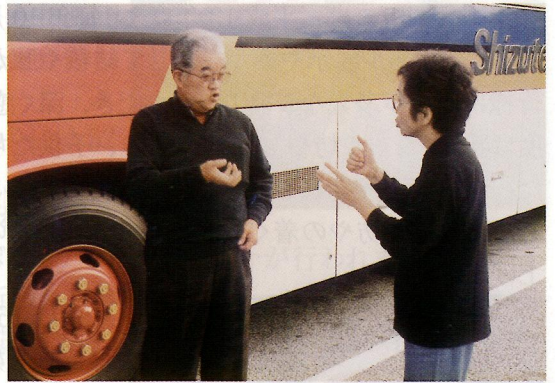
「ええ、今日は結核についてのPRをしているの。パネルもあるし、住民健診で胸のレントゲンを撮っていない人は、今日はここで受けられるのよ。」

「今年はまだ受けていないから、撮っていきかな？」

「それが良いと思うわ。」

Sさんは受付を済ますと列に並んだ。

Sさんは定年退職して今は家に居る。高齢者の結核が減らない今、胸部レントゲンを受けて帰るSさんの姿を見て嬉しく思った。



聴覚障害者とのふれあいは大切な勉強の場

その2 ある日、大手の会社に健診に出かけた。

受診票を持ち、聴覚障害者のKさんがニコニコしながら順番を待っている。

「今年も来ていたの？」と、Kさん

「そうよ、久しぶりね。元気でした？」

「ええ、また会えてうれしいわ。」

一年に一度の健診で会うだけなのに、私を見て、そして私もSさんを見てなにかしらホッとする。

手話通訳をするために、健診順序に従って一緒について行く。最後に胃の検診だ。

「身体を右に向けて、次は下を向いて。」とX線技師の指示がある。

Kさんの顔が向こうを向いたり下を向くと、私の手話が見えずお互いに苦勞をする。

(胸部・胃部の健診車に電光掲示板の設備があったらナァー。)

耳が聞こえる、聞こえないに関係なく、受診される方にはとても役立つものだといつも思う。

「今年もありがとう。」とKさん。

「また来年も会いましょう。元気でね。」

Kさんも私も、後ろを振り返りながらお互いの持場へ向かった。

その3 所内で行う健診にも聴覚障害の方が来られる。

この方は毎年のことで、ドクターの聴打診以外はほとんど手話を必要としない。

まとめ 健康診断と聞けば誰でも、どこか悪いと言われたいか、診断結果は大丈夫か等不安な気持ちで受診にみえる。聴覚障害の方はそれに加え、相手が何を言っているのか、話を通じるかどうか不安な気持ちがある。そのような意味からも、こうして手話通訳をしていることがいかに大切なことかと改めて感じる。

手話は、耳が聞こえる、聞こえないに関係なくお互いに必要なコミュニケーションの手段。

これからも間違いのない・通じる手話の勉強をしなくては!

おすすめ 読者の皆様も、聴覚障害の方とお会いになりましたら、口話や身振りや筆談で話をしてみてください。

話を通じるとホッとしてお互い良い気持ちになりますよ。

そして、月日はかかりますが機会があれば是非手話を習ってみませんか。

総合健診課 主事 鈴木豊子

個人情報保護法が施行されました

- 当支部では、お客様の個人情報は次に記載した収集及び利用の目的の範囲内で取り扱いを行います。
 - ・健康診断サービスを実施するため
(受付等での呼び出し及び本人確認・検査・問診・判定・保健指導・経年データ管理など)
 - ・健康診断の管理運営業務を行うため
(スケジュール管理・事前案内・健診結果報告書等の発送管理など)
 - ・検体検査業務の委託その他の業務委託を行うため
(当支部と同水準の個人情報保護対策を講じている業務委託先を選定します。)
 - ・会計、経理を行うため
 - ・医療事故等の報告を行うため
 - ・複十字シール運動を依頼するため
- 当支部では、お客様の個人情報は厳重に管理・保護のうえ、その取り扱いにつきましては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払っております。
- 個人情報保護に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

[お客様相談窓口]

TEL：054-261-2512

FAX：054-261-9474

E-mail：tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

車椅子のままで結核検診を

高齢者の結核患者の早期発見のため少なくとも年1回の胸部検診を実施しましょう。
当予防会では、車椅子のままで撮影できるリフト付き胸部検診車を導入しました。

1 実施方法

リフト付き検診車による胸部X線直接撮影

- ① 専用の車椅子に乗換えていただきます。
- ② 車椅子に乗ったままで撮影します。
- ③ 車椅子での介助は当予防会職員が行います。



車内での撮影



車椅子で検診車内へ

結核予防リーダー研修会

静岡県結核予防婦人会主催の結核予防リーダー研修会が、2月24日(木)静岡県総合社会福祉会館で開催された。



キ～才先生の一日



図書案内

法改正に伴う、春頃発行予定の書籍（詳細は未定）

● ● BCG 関連 4月発行予定 ● ●

☆保健所における結核対策強化の手引きとその解説 大改訂版 **ご期待ください！**
 ☆JATAブックス10（大改訂版・改題）新版 BCG接種（仮題）

★新刊★

- 新しい結核医療基準に対応 2005年1月発行
 ◇平成17年改訂 知って治そう 結核マンガ 定価840円
- ◆ マンガ中心でとてもわかりやすい
 - ◆ 知っておきたい結核の基礎知識を幅広く網羅
 - ◆ 患者さんも医療従事者も納得の内容
 - ◆ 入門書としても大活躍！！

現場で役立つ 2005年3月発行
 ◇パンフレット 直接BCG接種の手引き定価315円

お問い合わせは・・・
 (財)結核予防会 静岡県支部
 TEL: 054-261-2512(代表)
 FAX: 054-261-9474

職員紹介

17年度を迎え新たな職員の参加がありました。



総務部長
 田中 一征
 (たなか かずゆき)



検診部次長
 杉山 保夫
 (すぎやま やすお)

編集後記

当支部は、静岡県自家用自動車協会員の無事故安全運転コンクールで4年連続の受賞となりました。多くの検診車を所有する当支部としては、事故は受診者の迷惑になることでもありますので、日ごろ安全運転に心掛けての成果です。

交通事故は不幸な結果を招きます、今後とも職員一同安全運転に徹し、さらなる記録の樹立を目指します。

(山田)

題字：田中隆（元支部職員） 表紙撮影：村木弘知（元県職員）